



クラウドファンディングサイト“夢チューブ”を活用し、延べ **1,848名** が参加!!

## 中日スポーツ 岩瀬・荒木・浅尾選手 引退記念特集 制作プロジェクト

昨年のシーズンをもって、ドラゴンズのレジェンドたちが相次いで引退を表明した。2011年に大車輪の働きでセ・リーグMVPを獲得した浅尾拓也。守ればゴールデングラブ賞6回、打てば2000本安打の荒木雅博。そして日本プロ野球で前人未達の407セーブを積み上げた岩瀬仁紀の3選手だ。

中日スポーツではドラゴンズを支え、多大な貢献をもたらした3選手の引退の花道を飾るべく、それぞれの引退記念特集を立ち上げた。そして彼らを長年支えたファンの名前を感謝の言葉とともに新聞に掲載する、個人広告企画の形を取ることとなった。

実は中日スポーツでは、これまでドラゴンズレジェンド引退特集を何度か掲載してきた。しかし今回はこれまでと違い、初めて中日新聞のクラウドファンディングサイト“夢チューブ”を活用して、協賛していただける人々を募る方法を取った。個人広告は申し込む側は心理的なハードルが高く、受け付ける側は事務処理が煩雑という問題点がある。しかしクラウドファンディングサイトを活用することでこの問題点は軽減され、最終的には3選手合わせて延べ1,848名の申込をいただき、夢チューブでは過去最大級のプロジェクトとなった。

そして現在は、同様に昨年グランパスを引退した元日本代表GK、楢崎正剛選手の歩みを月刊Granがまとめた特製コンプリートブックを出版する「ナラ1プロジェクト」も展開中。こちらはまだ“夢チューブ”で申込を受付中ですので、お申込みいただければ幸いです。

名古屋本社 スポーツ部 小西 秀樹



▲岩瀬投手・プロジェクト紙面 (中日スポーツ 3月2日付)



▲荒木選手・プロジェクト紙面 (中日スポーツ 3月3日付)



▲浅尾投手・プロジェクト紙面 (中日スポーツ 3月24日付)



▲クラウドファンディングサイト“夢チューブ”プロジェクトページ



▲本企画の限定グッズ (一部)



▲中日スポーツでの告知 (11月28日付ほか)



紙面に協賛者の氏名を掲載

- 協賛コースに応じた返礼品を準備しました
- A) 紙面への名前掲載 + 記念フェイスタオル
  - B) コースA + オープン戦チケット引換券
  - C) コースB + 記念Tシャツ
  - D) コースC + 記念ビガータオル



▲特集紙面はパネル化し、選手に贈呈しました (左から岩瀬投手、荒木選手、浅尾投手)